科学研究費助成事業 研究成果報告書



令和 6 年 9 月 2 7 日現在

機関番号: 34316

研究種目: 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)

研究期間: 2018~2023

課題番号: 17KK0056

研究課題名(和文) Reconciliation: Treating Asia's Border Traumas with Traditional Medical Analogy

研究課題名(英文)Reconciliation: Treating Asia's Border Traumas with Traditional Medical Analogy

研究代表者

陳 慶昌 (Chen, Ching-Chang)

龍谷大学・国際学部・教授

研究者番号:50569788

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 11,400,000円

渡航期間: 12ヶ月

研究成果の概要(和文):東アジアにおける長年の紛争は、ウェストファリアの近代性に伴う二項対立的なレンズを通して再生産されてきた。本研究は、「ポリティカル・ヒーリング」としての独創的かつ非二項対立的なアプローチを開発するものである。アジア哲学、宗教学、政治学、ポストコロニアル研究などの観点から東洋医学の思想と実践をケーススタディとして取り上げる。研究メンバーは、このような紛争を共有された政治的身体の病気として理解し、治療できると提案している。研究成果はThird World Quarterly誌(2022年Impact Factor 2.0)の45巻6号として出版され、研究代表者が9本の論文のうち3本を執筆している。

研究成果の学術的意義や社会的意義

- 1.本研究は、東洋医学の思想と実践を活用した国際関係論・紛争解決研究への世界初の体系的貢献である。また、同じ大学から複数の研究者がSSCI学術誌の特集号の客員編集者および執筆者を務めるのは、日本の国際政治学界では珍しい。
- 2. 本特集号に掲載された論文は、大乗仏教の医療実践、道教の陰陽弁証法、気の流れの分析、五行思想など東洋医学の知見から得た新しい発想で、東アジアにおける国際関係・紛争解決研究に貢献している。 3. 研究成果は、米国の安全保障に関する言説、朝鮮半島における平和、日韓関係、尖閣諸島問題、中国と香港や台湾との対立や衝突などを再考する上で重要な政策的意味を持つ。

研究成果の概要(英文): Longstanding conflicts in East Asia have been reproduced through the dichotomous lens of Westphalian modernity. This research develops an original and non-dichotomous approach as "political healing." It engages with East Asian medical thought and practice through various case studies from the perspectives of Asian philosophy, religious studies, political science, and postcolonial studies. The research members propose that the aforementioned conflicts can be understood and treated as diseases of a shared body politic. The research findings are published as a special issue (volume 45, issue 6) of Third World Quarterly (2022 Impact Factor 2.0). The principal investigator serves as its guest editor and contributes to three of the nine

articles.

研究分野: 国際関係論

キーワード: ポリティカル・ヒーリング 東洋医学 国際関係論 東アジア 紛争解決

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様 式 F-19-2

1. 研究開始当初の背景

持続可能な開発のために平和的で包摂的な社会を促進することは、2015年以降の SDGs の目的の一つであるが、国際関係における二分化は悪化の一途をたどっている。例えば、COVID-19のパンデミック発生に伴う医療資源をめぐる先進国と発展途上国の対立、ロシアのウクライナ戦争をめぐる権威主義と民主主義の対立などが挙げられる。同様の懸念すべき不和や対立は、東アジアにおいても多数確認されている。

2. 研究の目的

本研究は、2018年に日本学術振興会科研費・国際共同研究強化(A)(17KK0056)の助成を受け、龍谷大学国際学部陳慶昌教授を研究代表者として開始された。本研究の目的は、東アジアにおける長年の紛争を単に観察し封じ込めることではなく、再考し変革することである。伝統的に、このような紛争とそれに伴う暴力は、ウェストファリアの近代性に伴う二項対立的なレンズを通して再生産されてきた。本研究は、オーストリア、日本、韓国、ニュージーランド、台湾、英国、米国を拠点とする研究者の協力を得て、「政治的癒し(ポリティカル・ヒーリング)」としての独創的かつ非二項対立的なアプローチを開発するものである。東アジアにおけるいくつかの紛争の根底にあるパターンを診断し、それを治療する方法を提案する。

3. 研究の方法

具体的には、アジア哲学、宗教学、政治学、ポストコロニアル研究など、さまざまな学問的 観点から東洋医学の思想と実践をケーススタディとして取り上げる。多彩な学術的背景を 持つ多国籍のプロジェクトメンバーは、現在進行中の紛争を共有された「政治的身体」の「病 気」として理解し、「治療」できると提案している。



出典:滑寿『十四経発揮』(Wikipedia Public Domain)

東洋医学では、気や血の流れを理解するために経絡を想像する。本研究では、「政治的身体」の「病気」として紛争を理解するために、創造的な想像力が必要であることが示している。これは、 鍼治療の道筋やツボを可視化するように、概念を明確にするためのものである。

4. 研究成果

研究成果は Third World Quarterly 誌 (Taylor & Francis) の特集号 (45巻6号) として出版され、陳が客員編集長を務めている。 Third World Quarterly は、開発学と国際関係論の分野で権威的な国際学術誌である (2022年 Impact Factor 2.0)。 2024年4月下旬の時点で、特集号が19,000以上のオンライン閲覧数を獲得していることは、本研究成果の質の高さと影響力の大きさを示している。以下、日本を拠点とする研究メンバーによる掲載論文(9本の論文のうち 5本)を簡単に紹介する。

冒頭の陳、Astrid H.M. Nordin (英国キングス・カレッジ・ロンドン)、Peter Karl Mayer (台湾中国医薬大学)による<u>巻頭論文</u>は、「政治的癒し」とは何を意味するのか、なぜ東洋医学が政治的癒しのための実践的な「処方」を豊富に提供するのか、研究者はこの処方をどのように活用することができるのか、そして東アジアの国際関係はどのように癒すことができるのかを説明している。

清水耕介(龍谷大学)と野呂靖(龍谷大学)による<u>第1の論文</u>は、大乗仏教を引き合いに出し、国際関係論研究において、自律的主体の存在や、彼らが「他者」とどのように関係するかといった、通常は時間的に直線的であるような、既成のメタ理論的前提を問い直すものである。彼らは主体/医者と客体/患者の垣根を曖昧にする大乗仏教の医療実践から学び、国際関係学者は、自らが向き合う国際問題と自己との間の相互構築を存在論的、空間的、時間的に検討しなければならないと主張する。

「五行」を組織化され、相互に関連する象徴の集合として考える五行理論に影響を受けた山本アンドレイ(龍谷大学)の<u>第4の論文</u>は、二項対立を前提とした一般的な紛争解決関連の文献における感情の役割に疑問を投げかけている。本論文は、感情を本質的に善か悪かではなく、むしろ過剰か不足かとして捉える方が有益であると主張する。従って、北朝鮮における感情の不均衡を癒すアプローチとして、カウンター・エモーションが提案されている。

Nina C. Krickel-Choi (オーストリア国際問題研究所)、陳、Alexander Bukh (アラブ首長国連邦ラブダン・アカデミー)による $\hat{\mathbf{n}}$ 6 の論文は、これまで存在論的安全保障学の知見から排他的なウェストファリア的「国家身体」の一部としてみなされていた尖閣諸島に対して、なぜ紛争国にとって存在論的に重要なものとなりうるのか、そしてなぜ紛争が永続するのかといった一連の疑問を東洋医学の知見から捉え直す。生物医学における解剖学のように尖閣諸島を保護・管理すべき個の実体とみなせば、本問題には突破口がないと結論付けられるが、東洋医学の知見を用いれば本問題の存在論的な突破口を見出すことができる。言い換えれば、もし尖閣諸島が東洋医学的な意味での臓器の機能に類似していれば、それは他の身体部分との関係性の中に組み込まれる。さらに、それが生命を維持する機能を生み出しているのであれば、尖閣諸島をめぐる機能的協力を促進することは、「日本・中国・台湾の身体」の健康に資することになる。

陳柏宇 (新潟県立大学)と陳による<u>第7の論文</u>は、仏教思想に着想を得た「間存在」(インタービーイング)の概念と東洋医学思想を応用することで、ウェストファリア近代性の二項対立的な言語を再生産することなく、中台関係の再考が可能であると論じている。アンバランスな「中台の体」は、「食料」(台湾海峡を越えた交流)の増加をより多くの「血」(「我々らしさ」または善意)に変えることに失敗しているが、一部の仏教団体の活動は「血作り」に資するものであり、ウェストファリア的な統一/独立の二分法を不安定化させる可能性は注目に値するという。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計11件(うち査読付論文 11件/うち国際共著 5件/うちオープンアクセス 7件)

〔雑誌論文〕 計11件(うち査読付論文 11件/うち国際共著 5件/うちオープンアクセス 7件)	
1.著者名	4 . 巻
Chen Ching-Chang、Nordin Astrid H. M.、Mayer Peter Karl	45
2.論文標題	5.発行年
Political healing in East Asian international relations: what, why and how	2024年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Third World Quarterly	1019 ~ 1034
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1080/01436597.2024.2322087	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Chen Ching-Chang	91
2.論文標題	5.発行年
Dynamics of Democracy in Taiwan: The Ma Ying-jeou Years	2024年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The China Journal	104~105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1086/727303	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Agarwal Amya、Chen Ching-Chang、Choi Shine、Cruz Frances Antoinette、Hoo Chiew-Ping、Watanabe Atsuko	24(1)
2.論文標題	5 . 発行年
Forum: Searching for a Global Solidarity: A Collective Auto-Ethnography of Early-Career Women Researchers in the Asia-Pacific	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Studies Perspectives	88 ~ 114
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1093/isp/ekac007	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1. 著者名	4 . 巻
Krickel-Choi Nina C.、Chen Ching-Chang、Bukh Alexander	4 · 동 45
	5.発行年
Embodying the state differently in a Westphalian world: an ontological exit for the Diaoyu/Senkaku Islands dispute	2024年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Third World Quarterly	1122 ~ 1140
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	↑査読の有無
10.1080/01436597.2022.2152789	有
 オープンアクセス	国際共著
イープンティビス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
3 7777 2720 273 (872, 2017, 2007)	H> -1 2 0

. ***	4 344
1. 著者名	4 . 巻
Krickel-Choi Nina C., Chen Ching-Chang	37
2.論文標題	5.発行年
Defending the islands, defending the self: Taiwan, sovereignty and the origin of the	2024年
Diaoyu/Senkaku Islands dispute as ontological security-seeking	2027—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
う、株理政告 The Pacific Review	301~327
HIE FACILIE NEVIEW	301 ~ 321
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
10.1080/09512748.2023.2166978	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 英名夕	
1 . 著者名	4. 巻
Chen Boyu、Chen Ching-Chang	45
2.論文標題	5.発行年
Rethinking China-Taiwan relations as a yin-yang imbalance: political healing by Taiwanese	2024年
Buddhist organisations	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Third World Quarterly	1141 ~ 1158
引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
^{3車以} 請果文のDOT (重読の有無 有
10.1000/01430337.2021.1300130	月
- -ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Chen Ching-Chang	37
2 . 論文標題	5 . 発行年
These islands are ours: the social constructions of territorial disputes in Northeast Asia	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Borderlands Studies	657 ~ 658
Souther of Soldofferido ottorio	007 000
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
词取論又のDUT(ナンタルオフシェクト蔵別士) 10.1080/08865655.2022.2046484	
10.1000/0000000000000000000000000000000	有
ナープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1. 著者名	4.巻
Ching-Chang Chen and Kosuke Shimizu	32
2.論文標題	5 . 発行年
াnternational relations from the margins: the Westphalian meta-narratives and counter-	2019年
narratives in Okinawa-Taiwan relations	2013-1
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Cambridge Review of International Affairs	521-540
Cambinage Nevice of International Arrans	J21-J40
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1080/09557571.2019.1622082	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	<u>-</u>

│ 1.著者名	4 . 巻
Ching-Chang Chen	-
oming thang the	
2、50分析的	r 整仁左
2.論文標題	5 . 発行年
Sinophone and Japanese International Relations Theory	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Oxford Bibliographies in International Relations	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/0B0/9780199743292-0271	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
カランプラとれてはない、人間カランプラとスが四葉	
****	,,
1.著者名	4 . 巻
Wan-Ping Lin and Ching-Chang Chen	-
The state of the s	
2 5公分+面店	F 整仁在
2.論文標題	5 . 発行年
Reflections on Confucian Cosmology and the Chinese School of IR	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
E-International Relations	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
$\frac{1}{2}$	以コッシ
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名	4.巻 22
1 . 著者名 Ching-Chang Chen	22
1.著者名 Ching-Chang Chen 2.論文標題	5 . 発行年
1 . 著者名 Ching-Chang Chen	5 . 発行年
1.著者名 Ching-Chang Chen 2.論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing	5 . 発行年
1.著者名 Ching-Chang Chen 2.論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State	5.発行年 2019年
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1.著者名 Ching-Chang Chen 2.論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State	22 5.発行年 2019年
1.著者名 Ching-Chang Chen 2.論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3.雑誌名	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1.著者名 Ching-Chang Chen 2.論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3.雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 [学会発表] 計27件(うち招待講演 8件/うち国際学会 19件)	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 【学会発表】 計27件(うち招待講演 8件/うち国際学会 19件) 1 . 発表者名	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 [学会発表] 計27件(うち招待講演 8件/うち国際学会 19件)	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 〔学会発表〕 計27件(うち招待講演 8件 / うち国際学会 19件) 1 . 発表者名	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 〔学会発表〕 計27件(うち招待講演 8件 / うち国際学会 19件) 1 . 発表者名	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 〔学会発表〕 計27件(うち招待講演 8件 / うち国際学会 19件) 1 . 発表者名	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 (学会発表) 計27件(うち招待講演 8件 / うち国際学会 19件) 1 . 発表者名 Ching-Chang Chen & Nina C. Krickel-Choi	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 (学会発表) 計27件(うち招待講演 8件/うち国際学会 19件) 1 . 発表者名 Ching-Chang Chen & Nina C. Krickel-Choi	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 (学会発表) 計27件(うち招待講演 8件/うち国際学会 19件) 1 . 発表者名 Ching-Chang Chen & Nina C. Krickel-Choi	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 (学会発表) 計27件(うち招待講演 8件/うち国際学会 19件) 1 . 発表者名 Ching-Chang Chen & Nina C. Krickel-Choi	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 (学会発表) 計27件(うち招待講演 8件/うち国際学会 19件) 1 . 発表者名 Ching-Chang Chen & Nina C. Krickel-Choi	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 【学会発表】 計27件(うち招待講演 8件/うち国際学会 19件) 1 . 発表者名 Ching-Chang Chen & Nina C. Krickel-Choi	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 【学会発表】 計27件(うち招待講演 8件/うち国際学会 19件) 1 . 発表者名 Ching-Chang Chen & Nina C. Krickel-Choi 2 . 発表標題 Re-imagining IR's biomedical foundations: an intervention by East Asian medicine	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 (学会発表) 計27件(うち招待講演 8件/うち国際学会 19件) 1 . 発表者名 Ching-Chang Chen & Nina C. Krickel-Choi 2 . 発表標題 Re-imagining IR's biomedical foundations: an intervention by East Asian medicine	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有
1 . 著者名 Ching-Chang Chen 2 . 論文標題 Danger, Development and Legitimacy in East Asian Maritime Politics: Securing the Seas, Securing the State 3 . 雑誌名 Social Science Japan Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyy045 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 (学会発表) 計27件(うち招待講演 8件/うち国際学会 19件) 1 . 発表者名 Ching-Chang Chen & Nina C. Krickel-Choi 2 . 発表標題 Re-imagining IR's biomedical foundations: an intervention by East Asian medicine	22 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 179-182 査読の有無 有

4 . 発表年 2023年

1. 景表著名 Ching-Chang Chen 2. 是表題語 Before the 'Indo-Pacific': The Talwan Expedition and the birth of Imperial Japan as an East Asian maritime power 3. 字含等名 Stiftung Wissenschaft und Politik Symposium on "The Law of the Sea and the Social Construction of Oceanic Space: 'Indo-Pacific' and Other Maritime Geopolitical Discourses (招待漢字) (國際字会) 4. 景表年 2023年 1. 果表書名 Ching-Chang Chen 3. 字含等名 International Studies Association - Asia Pacific (國際字会) 4. 景表年 2023年 2. 是表題語 Beast-West Torum, National Chung Heing University, Talwan (招待漢字) (国際字会) 4. 景表年 Ching-Chang Chen 1. 果表書名 Ching-Chang Chen 1. 果表書名 Ching-Chang Chen 4. 景表年 2023年 1. 果表書名 Ching-Chang Chen 2. 果表種語 "Becoming normal": Waking sense of Japan's security policy transformation in the wake of the Russo-Ukrainian War 4. 景表年 2023年 1. 果表書名 Ching-Chang Chen 2. 果表書名 Ching-Chang Chen 4. 景表年 2023年 4. 景表年 2023年 A Read Read Read Political Science Association World Congress (国際字会) 4. 景表年 2023年 A Read Read Read Read Read Read Read Read	1 举表者名
Before the "Indo-Pacific": The Talwan Expedition and the birth of Imperial Japan as an East Asian maritime power 3 . 学会等名 Stiffung Wissenschaft und Politik Symposium on "The Law of the Sea and the Social Construction of Oceanic Space: 'Indo-Pacific' and Other Maritime Geopolitical Discourses (招待講演) (国際学会) 4 . 発表者名 Ching-Chang Chen 2 . 発表標題 How to construct more resilient political communities? An East Asian medical approach to rethinking the state body 3 . 学会等名 International Studies Association - Asia Pacific (国際学会) 4 . 発表年 2023年 1 . 発表者名 Ching-Chang Chen 2 . 発表模題 "Becoming normal": Waking sense of Japan's security policy transformation in the wake of the Russo-Ukrainian War 3 . 学会等名 East-Nest Forum, National Chung Hsing University, Talwan (招待議演) (国際学会) 4 . 発表年 2023年 1 . 発表者名 Ching-Chang Chen 2 . 発表模題 Why is relationality inherently embodied? An East Asian medical approach to theorizing relations 3 . 学会等名 Ching-Chang Chen 4 . 発表模型 Why is relationality inherently embodied? An East Asian medical approach to theorizing relations	
Stiftung Wissenschaft und Politik Symposium on "The Law of the Sea and the Social Construction of Oceanic Space: 'Indo-Pacific' and Other Maritime Geopolitical Discourses (招待議演) (国際学会) 4. 発表年 2023年 1. 発表者名 Ching-Chang Chen 2. 発表標題 How to construct more resilient political communities? An East Asian medical approach to rethinking the state body 3. 学会等名 International Studies Association - Asia Pacific (国際学会) 4. 聚表年 2023年 2. 発表標題 'Becoming normal': Making sense of Japan's security policy transformation in the wake of the Russo-Ukrainian War 2. 発表標題 'Becoming normal': Making sense of Japan's security policy transformation in the wake of the Russo-Ukrainian War 3. 学会等名 East-Mest Forum, National Chung Hsing University, Taiwan (招待議演) (国際学会) 4. 発表者名 Ching-Chang Chen 2. 発表構題 Why is relationality inherently embodied? An East Asian medical approach to theorizing relations 3. 学会等名 Korean Political Science Association World Congress (国際学会) 4. 発表年	
1. 発表者名 Ching-Chang Chen 3. 学会等名 International Studies Association - Asia Pacific (国際学会) 4. 発表年 2023年 1. 架表者名 Ching-Chang Chen 2. 発表標題 'Becoming normal': Making sense of Japan's security policy transformation in the wake of the Russo-Ukrainian War 3. 学会等名 East-West Forum, National Chung Hsing University, Taiwan (招待講演) (国際学会) 4. 発表年 2023年 1. 発表者名 Ching-Chang Chen 2. 発表標題 'Becoming normal': Making sense of Japan's security policy transformation in the wake of the Russo-Ukrainian War 3. 学会等名 East-West Forum, National Chung Hsing University, Taiwan (招待講演) (国際学会) 4. 発表年 2023年 1. 発表者名 Ching-Chang Chen 3. 学会等名 Korean Political Science Association World Congress (国際学会) 4. 発表年	Stiftung Wissenschaft und Politik Symposium on "The Law of the Sea and the Social Construction of Oceanic Space: 'Indo-Pacific' and Other Maritime Geopolitical Discourses(招待講演)(国際学会) 4.発表年
2. 発表標題 How to construct more resilient political communities? An East Asian medical approach to rethinking the state body 3. 学会等名 International Studies Association - Asia Pacific (国際学会) 4. 発表年 2023年 1. 発表者名 Ching-Chang Chen 2. 祭表標題 'Becoming normal': Making sense of Japan's security policy transformation in the wake of the Russo-Ukrainian War 3. 学会等名 East-West Forum, National Chung Hsing University, Taiwan (招待講演) (国際学会) 4. 発表年 2023年 1. 発表者名 Ching-Chang Chen 1. 発表者名 Ching-Chang Chen 2. 発表標題 Why is relationality inherently embodied? An East Asian medical approach to theorizing relations 3. 学会等名 Korean Political Science Association World Congress (国際学会) 4. 発表年	2023年
How to construct more resilient political communities? An East Asian medical approach to rethinking the state body 3. 学会等名 International Studies Association - Asia Pacific (国際学会) 4. 発表年 2023年 1. 発表者名 Ching-Chang Chen 2. 発表標題	
International Studies Association - Asia Pacific (国際学会) 4. 発表年 2023年 1. 発表者名 Ching-Chang Chen 2. 発表標題	
1. 発表者名 Ching-Chang Chen 2. 発表標題 'Becoming normal': Making sense of Japan's security policy transformation in the wake of the Russo-Ukrainian War 3. 学会等名 East-West Forum, National Chung Hsing University, Taiwan (招待講演) (国際学会) 4. 発表年 2023年 1. 発表者名 Ching-Chang Chen 2. 発表標題 Why is relationality inherently embodied? An East Asian medical approach to theorizing relations 3. 学会等名 Korean Political Science Association World Congress (国際学会) 4. 発表年	
Ching-Chang Chen 2 . 発表標題	
Ching-Chang Chen 2 . 発表標題	
Becoming normal': Making sense of Japan's security policy transformation in the wake of the Russo-Ukrainian War 3 . 学会等名 East-West Forum, National Chung Hsing University, Taiwan (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2023年 1 . 発表者名 Ching-Chang Chen 2 . 発表標題 Why is relationality inherently embodied? An East Asian medical approach to theorizing relations 3 . 学会等名 Korean Political Science Association World Congress (国際学会)	
East-West Forum, National Chung Hsing University, Taiwan (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2023年 1 . 発表者名 Ching-Chang Chen 2 . 発表標題 Why is relationality inherently embodied? An East Asian medical approach to theorizing relations 3 . 学会等名 Korean Political Science Association World Congress (国際学会) 4 . 発表年	
1 . 発表者名 Ching-Chang Chen 2 . 発表標題 Why is relationality inherently embodied? An East Asian medical approach to theorizing relations 3 . 学会等名 Korean Political Science Association World Congress (国際学会) 4 . 発表年	
Ching-Chang Chen 2 . 発表標題 Why is relationality inherently embodied? An East Asian medical approach to theorizing relations 3 . 学会等名 Korean Political Science Association World Congress (国際学会) 4 . 発表年	East-West Forum, National Chung Hsing University, Taiwan(招待講演)(国際学会)
Why is relationality inherently embodied? An East Asian medical approach to theorizing relations 3 . 学会等名 Korean Political Science Association World Congress (国際学会) 4 . 発表年	East-West Forum, National Chung Hsing University, Taiwan(招待講演)(国際学会) 4 . 発表年
Korean Political Science Association World Congress(国際学会) 4 . 発表年	East-West Forum, National Chung Hsing University, Taiwan (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2023年 1 . 発表者名
	East-West Forum, National Chung Hsing University, Taiwan (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2023年 1 . 発表者名 Ching-Chang Chen 2 . 発表標題
	East-West Forum, National Chung Hsing University, Taiwan (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2023年 1 . 発表者名 Ching-Chang Chen 2 . 発表標題 Why is relationality inherently embodied? An East Asian medical approach to theorizing relations

1 登夷者名
1 . /// ()
Chen Ching-Chang

2 . 発表標題

IR scholars in Japan as Homo Academicus

3.学会等名

Collaborative Workshop with the Critical Approaches to Political Science Lab, Department of Political Science, Yonsei University. Global Affairs Research Center, Ryukoku University, Kyoto. January 27

4.発表年

2023年

1.発表者名

Chen, Ching-Chang

2 . 発表標題

Introducing political healing to/in/for more resilient East Asian international relations

3 . 学会等名

Workshop on New Perspectives for International Relations: Crisis, Conflict, and Pluriversal World. Kanazawa University, Kanazawa. February 3 (招待講演)

4.発表年

2023年

1.発表者名

Chen Ching-Chang

2 . 発表標題

"When does the subaltern not want to speak? A preliminary postcolonial inquiry into the state of Taiwanese political science."

3.学会等名

International Studies Association Annual Convention (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Chen Ching-Chang

2 . 発表標題

The Marginalized Can (and Should) Speak (Or, Why the Mudanshe/Botansha Incident Has Not Turn into Another "History Issue" in East Asia)

3.学会等名

International Political Science Association World Congress (国際学会)

4 . 発表年

2021年

1.発表者名
Chen Ching-Chang
2 25年4年175
2 . 発表標題
"Becoming Taiwanese": Pandemic Control as Nation-Building amid Heightened US-China Strategic Rivalry
3.学会等名
International Convention of Asia Scholars(国際学会)
- Net-
4. 発表年
2021年
1. 発表者名
Chen Ching-Chang、Yamamoto Andrei
2 . 発表標題
" 'Know your proper place': Orientalizing North Korea in American and Chinese non-proliferation discourses."
mon your proper proce . Or to maintain and the following and of the property of the action discourage.
3.学会等名
10th Eurasian Peace Science Conference(国際学会)
4 . 発表年
2022年
1.発表者名
Chen Ching-Chang
onen enning energ
N. D.
2.発表標題
Reporting Taiwan, Rediscovering Japan? Representations of Taiwan by Conservative Japanese Media as an Identity Strategy
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
3.学会等名
Association for Asian Studies Annual Conference(国際学会)
4.発表年
2022年
4 District
1.発表者名
Chen Ching-Chang
-
2.発表標題
IR Scholars in Japan as Homo Academicus
3 . 学会等名
International Studies Association Annual Convention (国際学会)
international studies Association Annual Convention(国际子云)
4.発表年
2022年
2022年
2022年
2022年

1.発表者名 Ching-Chang Chen
2 . 発表標題 The Future of Taiwan in the Age of US-China Hegemonic Competition
3.学会等名 165th Diplomatic Roundtable, Japan Forum on International Relations(招待講演)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 Ching-Chang Chen
2 . 発表標題 When Does the Subaltern Not Want to Speak? A Preliminary Postcolonial Inquiry into the State of Taiwanese Political Science
3 . 学会等名 International Studies Association Annual Convention(国際学会)
4.発表年 2021年
1 . 発表者名 Ching-Chang Chen
2 . 発表標題 If Not a Non-Western IR, What Can Be Done? China as a Method in Japanese IR Knowledge Production
3 . 学会等名 International Studies Association Annual Convention(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Ching-Chang Chen
2 . 発表標題 The Diaoyu/Senkaku Islands Dispute as a Case of Leukemia and Its Possible Treatment
3 . 学会等名 International Studies Association Asia Pacific Conference(国際学会)
4 . 発表年 2019年

1.発表者名
Ching-Chang Chen and Andrei Malai
2.発表標題
"Know Your Proper Place": Orientalizing North Korea in American and Chinese Non-Proliferation Discourses
Know four Proper Prace . Offentalizing North Korea in American and Chinese Non-Profiteration Discourses
3.学会等名
International Studies Association Asia Pacific Conference(国際学会)
(41.0.5.2.)
4.発表年
2019年
1.発表者名
Ching-Chang Chen and Kosuke Shimizu
orning orang oron and resource orranged
3 プレ士 4班日本
2.発表標題
International Relations from the margins: The Westphalian meta-narratives and counter-narratives in Okinawa-Taiwan relations
3.学会等名
European International Studies Association Annual Conference(国際学会)
4.発表年
2019年
1 . 発表者名
Ching-Chang Chen
2.発表標題
Narrating East Asian International Relations from the Margins
National Relations from the marging
N.A.W.
3 . 学会等名
Weatherhead East Asian Institute Event, Columbia University(招待講演)
4.発表年
2020年
4V4VT
1.発表者名
Ching-Chang Chen
2
2.発表標題
2 . 発表標題 Political Healing in East Asian International Relations
Political Healing in East Asian International Relations
Political Healing in East Asian International Relations 3.学会等名
Political Healing in East Asian International Relations
Political Healing in East Asian International Relations 3.学会等名 GLUE Brownbag Series, The New School (招待講演)
Political Healing in East Asian International Relations 3 . 学会等名 GLUE Brownbag Series, The New School (招待講演) 4 . 発表年
Political Healing in East Asian International Relations 3.学会等名 GLUE Brownbag Series, The New School (招待講演)
Political Healing in East Asian International Relations 3 . 学会等名 GLUE Brownbag Series, The New School (招待講演) 4 . 発表年
Political Healing in East Asian International Relations 3 . 学会等名 GLUE Brownbag Series, The New School (招待講演) 4 . 発表年

1.発表者名 Ching-Chang Chen
2 . 発表標題 A Preliminary Inquiry into the Confucian Cosmology for Post-Human IR Theorizing
3 . 学会等名 International Studies Association Annual Convention, San Fransisco(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Ching-Chang Chen
2 . 発表標題 Does (Un)Chineseness Matter? Taiwan's (Non-)Involvement in China's Maritime Disputes Reconsidered
3.学会等名 FLACSO-ISA Joint International Conference, Quito, Ecuador(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Ching-Chang Chen
2 . 発表標題 If Not a Non-Western IR, What Can Be Done? China as a Method in Japanese IR Knowledge Production
3.学会等名 College of International Relations, Huaqiao University, Xiamen, China (招待講演)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Ching-Chang Chen
2. 発表標題 Crossing the Red Line? Rethinking the 'Broken' Chemical Weapons Taboo in the Second Sino-Japanese War
3 . 学会等名 One Asia Lecture Series, National Chung Hsing University, Taichung, Taiwan (招待講演)
4 . 発表年 2018年

1	ジキセク
1	. 杂表石名

Akiko Nagao and Ching-Chang Chen

2 . 発表標題

Case-study of English as a Medium of Instruction (EMI) in Japan: The New Challenges and Implications for Language Teaching

3.学会等名

6th Asia Pacific Conference, Ritsumeikan Asia Pacific University, Beppu, Japan

4.発表年

2018年

1.発表者名

Ching-Chang Chen

2 . 発表標題

If Not a Non-Western IR, What Can Be Done? China as a Method in Japanese IR Knowledge Production

3. 学会等名

International Studies Association Annual Convention, Toronto (国際学会)

4.発表年

2019年

「図書) 計1件

1. 著者名	4.発行年
Chih-yu Shih et al.	2019年
	- 1/1 0 SNIL
2. 出版社	5.総ページ数
Routledge	286
2 事々	
3 . 書名	
China and International Theory: The Balance of Relationships	

〔産業財産権〕

〔その他〕

2023年度人間・科学・宗教総合研究センター研究交流会・開催レポート前編【研究部】

https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-14554.html 2022年度人間・科学・宗教総合研究センター研究交流会・開催レポート前編

https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-12463.html

東洋医学の思想をメタファーとして、紛争解決への新たなアプローチを提案する

https://academic-doors-ryukoku.jp/interview/03

国際学部の清水教授と陳准教授が国際関係分野においてTop10%論文を3本保持

https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-9610.html

Visiting Fellow Spotlight: Ching-Chang Chen

https://newschoolinternationalaffairs.org/2020/02/06/visiting-fellow-spotlight-ching-chang-chen/

Narrating E Asian Int'l Relations from the Margins

http://weai.columbia.edu/event/narrating-east-asian-international-relations-from-the-margins/

Eurasian Studies vol. 10

https://gioip.nchu.edu.tw/zh_tw/Admissions2/Eurasian/%E7%AC%AC%E5%8D%81%E6%9C%9F-54005770

6 . 研究組織

0	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
主たる渡航先の主たる海外共同研究者	バッハ ジョナサン (Bach Jonathan)	ニュースクール大学・Eugene Lang College of Liberal Arts・Professor	
主たる渡航先の主たる海外共同研究者	フクダ・パー サキコ (Fukuda-Parr Sakiko)	ニュースクール大学・Julien Studley Graduate Program in International Affairs・Professor	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計2件

国際研究集会	開催年
Ryukoku Workshop on Political Healing	2019年~2019年
国際研究集会	開催年
NCHU-Ryukoku Workshop on Non-Western International Relations	2019年~2019年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
英国	King's College London			
その他の国・地域	Academia Sinica		National Chung Hsing University	
アメリカ	St. Edward's University			
韓国	Yonsei University			
アラブ首長国連邦	Rabdan Academy			